

## 公開シンポジウム「変動する湾岸情勢と日本:危機の時代を展望する」(9/18)のご案内

立命館大学アジア・日本研究所、日本エネルギー経済研究所中東研究センター、立命館大学中東・イスラーム研究センターの主催で、以下の要領で公開シンポジウムを開催いたします。ウェビナー形式での開催となりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

タイトル:

イラン・イラク戦争から 40 年・湾岸危機/湾岸戦争から 30 年・公開シンポジウム「変動する湾岸情勢と日本:危機の時代を展望する」

趣旨:

本年 2020 年は、イラン・イラク戦争勃発から 40 年、湾岸危機勃発から 30 年の節目の年である。この間、湾岸地域においては米国・イラン・イラク・GCC 諸国の対立が続いており、国際社会は不安定な地域情勢に翻弄されてきた。日本は投資やビジネス、民間交流を通じて湾岸諸国との関係を深める一方で、依然として 9 割近い原油を湾岸諸国に依存していることから、常にエネルギー安全保障を念頭に置いて地域情勢に対応せざるを得なかった。本シンポジウムでは、改めて二つの出来事を回顧しながら、地域の対立構造の本質に迫る。またエネルギー、現代中東政治、イランの専門家からのコメントをもとに議論を深め、湾岸情勢の行方と日本の向き合い方を考える。

開催日時:2020 年 9 月 18 日(金)15 時~17 時

開催場所:Zoom によるウェビナー形式

プログラム:

司会・ご挨拶:小杉泰(立命館大学)

酒井啓子(千葉大学) 講演①「イラン・イラク戦争から 40 年」

保坂修司(日本エネルギー経済研究所) 講演②「湾岸危機から 30 年」

脇祐三(元日本経済新聞社) コメント①「石油を巡る国際関係の観点から」

末近浩太(立命館大学) コメント②「現代中東政治の観点から」

黒田賢治(国立民族学博物館) コメント③「イラン政治の観点から」

## 質疑応答

ご参加を希望される方は9月16日(水)17時までに下記フォームより参加登録をお願いいたします。登録を頂いた方宛に、担当者よりZoomウェビナーへの参加手続き情報をお送りいたします。

参加申し込みフォーム:

<https://forms.gle/68oRcg4zjKyZZZmd6>

連絡・問い合わせ先:

立命館アジア・日本研究所 研究集会事務局 E-mail: [aji-con@st.ritsumeai.ac.jp](mailto:aji-con@st.ritsumeai.ac.jp)

主催: 日本エネルギー経済研究所 中東研究センター、立命館大学アジア・日本研究所、立命館大学  
中東・イスラーム研究センター

共催: 科学研究費助成・新学術領域研究「グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて: 関係性中心  
の融合型人文社会科学の確立社会科学の確立」(グローバル関係学)、科研費基盤(A)「現代イスラ  
ムにおける法源学の復権と政治・経済の新動向: 過激派と対峙する主流派」